

福岡歯科大学長に高橋裕教授が就任

たかはし ゆたか

2017年12月19日開催の第

518回理事会の議を経て、福岡歯科大学の第11代大学長に、高橋 裕有床義歯学分野教授が就任しました。1973年の福岡歯科大学開学以来、卒業生で初めての就任となります。なお、任期は2018年2月1日より3年間です。高橋新学長に抱負をお聞きしました。



【略歴】

1981年に福岡歯科大学歯学部を卒業、1989年歯学博士を取得し、福岡歯科大学助手、講師、助教授を経て、2003年3月に福岡歯科大学有床義歯学分野教授に就任し、現在に至る。福岡歯科大学医科歯科総合病院副病院長、福岡歯科大学学生部長、学校法人福岡学園（旧福岡歯科学園）評議員などを歴任。福岡県出身。62歳。

夢が実現する大学、人を育てる大学

2018年2月1日付で第11代福岡歯科大学長に就任を致しました高橋 裕です。福岡歯科大学は西日本唯一の私立歯科大学であり、創立45周年が過ぎ4300名以上の卒業生を輩出しています。この福岡歯科大学の大学長を務めさせていただくことは光栄であり、責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。

私は1975年に福岡歯科大学の3期生として入学しました。卒業後は本学に残り、助手、講師、助教授を経て、2003年から咬合修復学講座有床義歯学分野の教授を務め、主に有床義歯補綴学の教育、診療、研究に携わってきました。

入学から現在までの43年間、私は福岡歯科大学を見てきました。この間いろいろな事がありました。良い時もあり、つらい時もありました。今日の私立歯科大学は少子化、歯科医師需給問題等で大変厳しい状況にあります。しかし、このような時代だからこそ、本学は社会から信頼される大学として将来に活路を見出す必要があります。

本学には、素直で優しい学生が昔から多いように感じています。このような学生を穏やかな学生に育て、その学生に歯科医学の専門教育をして有能な歯科医師に育てたいと思っています。そして、多くの歯科医師を本学から送り出すことができれば、福岡歯科大学は学生にとって「夢が実現する大学」になります。また、教員は皆さん教育熱心で協力的です。いろいろ工夫をしながら教育し学生と接しています。学生を、医局員を、後輩を教え育てる「人を育てる大学」にしたいと思っています。

来る2022年には福岡歯科大学は創立50周年を迎えます。現在、福岡歯科大学医科歯科総合病院の建替え準備中で、2020年秋に新病院の開院を予定しており、福岡学園福岡歯科大学創立50周年記念講堂（仮称）も2022年完成に向けて計画中です。大学はこれからも発展を続け、歯科医学を通じて社会に貢献できる大学であり続けるように努めます。どうぞよろしくお願い致します。

石川前福岡歯科大学長が常務理事に

2018年1

月の理事会の議決により、1月末に任期満了となった石川博之前福岡歯科大学長が、2月1日付で常務理事に就任されました。同氏は、2000年11月に福岡歯科大学教授に就任後、同大学医科歯科総合病院長、学校法人福岡学園（旧福岡歯科学園）理事・評議員等を歴任し、2015年2月から福岡歯科大学長を務められました。



北村憲司常務理事が福岡医療短期大学長専任に

2017年4月から福岡医療短期大学長兼務であった北村憲司常務理事が、2018年2月1日から福岡医療短期大学長専任となり、同大学の発展のためご尽力いただくことになりました。

